

令和6年11月7日

(公社) 全日本トラック協会  
会長 坂本 克己 様

飼料・畜産輸送に関する要請書



九州トラック協会

会長 馬 渡 雅 敏

九州ブロック飼料・畜産輸送部会

部会長 福 田 博

平素より、九州トラック協会の運営及び各種活動等につきまして、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、ご案内のとおり、昨今のドライバー不足は年々深刻化しており、トラック運送事業の継続的かつ安定的な事業運営に大きな支障をきたすとともに、更に2024年問題等により、今後一層のドライバー不足や物流の停滞など「運びたくても運べない」危機的状況の到来が懸念されております。

特に、飼料・畜産輸送事業者においては、他運送業務と比べ安全面での課題も多く、働く環境の整備（安全性の確保）なくしては人材確保は益々難しい状況にあります。

また、九州地域は全国でも有数の畜産地帯であることから、飼料製造・供給はもとより、畜産物加工など関連産業の裾野も広く、今後更なる九州の経済発展及び将来にわたって国内の食料自給率の維持・向上の観点からも、飼料メーカーや生産者及び関係団体、行政機関のみならず、我々運送事業者も含めた関係者が一体となって、家畜配合飼料の安全で安定した供給・利用体制の構築が急務となっております。

これまで、鹿児島・宮崎県の両トラック協会の飼料・畜産輸送部会が中心となって、合同部会の開催や国・県等への要請活動等＜別紙①：部会活動経過等＞を行って参りましたが、九州全域での持続可能な飼料・畜産輸送業務の実現に向け喫緊の課題の共有と今後の対策等について連携を図りながら取り組むため、令和6年2月に九州ブロック飼料・畜産部会を発足いたしました。

今般、部会活動の一環として「畜産飼料流通に関する九州地域での課題解決のための合同研修会」を開催し、国・県の行政官庁はもとより、各関係機関・団体・メーカー等に参画いただき、優良事例の取組及びメーカー等の先駆的システムの紹介や意見交換等を行ったところであります。＜別紙②：大会概要等＞

更に、合同研修会参加者の賛同・協力を得て、お互いが抱える喫緊の課題等の解決とともに、九州ブロックの更なる畜産振興と安全・安心・安定した持続可能な家畜飼料輸送体制の構築を図ることを目的とした共同宣言＜別紙③＞を採択し関係者一丸となって取り組むこととしております。

つきましては、将来にわたる国産の食料の安定的確保及び供給の観点からも、（公社）全日本トラック協会におかれましては、下記要請事項に対し、国をはじめ、各関係機関・団体等が連携しながら諸般の課題解決に向けた対応が迅速に図られるよう、特段のご配慮をお願い申し上げます。

## 記

1. 飼料メーカーや生産者及び関係団体のみならず、我々運送事業者も含めた関係者が一体となって検討・協議できる場を国及び各地域ブロック毎に設けるなど、全国的な家畜配合飼料の安全で安定した供給・利用体制の構築を推進すること。
2. 今回の案件は農林水産省所管であるが、2024年問題への対応に向けた本省レベルでの連携・対応と同様に、地方並びに生産現場におけるあらゆる課題解決に当たっても、国土交通省並びに厚生労働省も交えた対策等の検討・実施が必要であることから、スピード感ある対応を進言すること。
3. 荷主等が作成・公表する物流の適正化・生産性向上に関する「自主行動計画」において、各所管省庁における年度毎の達成・実施状況の検証や未達成事項等の早期解決に向けた対応・実施・指導等について進言すること。



**牧田会長挨拶**



**農林水産省畜産局夢沼室長**



**会場参加者**



**生産現場・メーカー等の優良事例報告**



**国・県・部会役員・事例発表者との意見交換**



**参加者からの質問も多数**



**福田部会長が意見交換の議事進行**



**有川副部会長が共同宣言**